



ハンドセンサー搭載
衛生的な手指洗浄を実現

生成量・時間を設定可能
正しい手洗い時間等を設定できます

有効塩素濃度の設定
目的に合わせて濃度レンジを設定可能

液補充ランプ
液切れをひと目でお知らせ

■ 製品仕様

名称・製品名	ハイジョキンII・電解次亜塩素酸水(微酸性次亜塩素酸水)生成器	
給水方式	元止め方式	
電源	定格電圧	AC 100V 50/60Hz
	定格電流	0.8A
給水水温	0~35℃(凍結不可)	
生成水量 ※1	約3L/分	
有効塩素濃度 ※2	20~40ppm(水道水の性質による)	
濃度設定	5段階選択式 レンジ1(20ppm)~レンジ5(40ppm)	
電解液	補助液	専用
	タンク容量	500mL(約500Lの電解次亜塩素酸水生成) ※3
形状寸法(mm)	高さ365mm × 幅260mm × 奥行き120mm(突起部含まず)	
重量	約4kg	
運転方式	ハンドセンサー(非接触式)/生成スイッチ	
生成時間設定	設定範囲:10~120秒(出荷時設定:10秒)	
生成量設定	設定範囲:1~200L(出荷時設定:10L)	
アクセサリ	壁掛けキット	
消耗品	ハイジョキン専用電解補助液(500cc×8本)	
交換部品の寿命	ポンプ:1600時間 電解槽:800時間	

※仕様は予告なく変更する場合があります。 ※水量表示は約±10%精度です。
 ※1 生成量は入力水量により異なります。 ※2 有効塩素濃度は原水の水質・水温等により変動します。 ※3 生成可能な量は、原水の水質・水温、設定条件等により異なります。



NEWS

新型コロナウイルス対策

次亜塩素酸水(強酸性 pH2.7 未満および微酸性 pH5.5)は、比較的容易に入手可能な生成装置から吐水され、食品や物品等の消毒の他に、手洗いに有効な資材としても推奨できます。

(2020年6月1日 / 玉城英彦 / 北海道大学名誉教授 発表)

微酸性次亜塩素酸水
電解次亜塩素酸水生成器

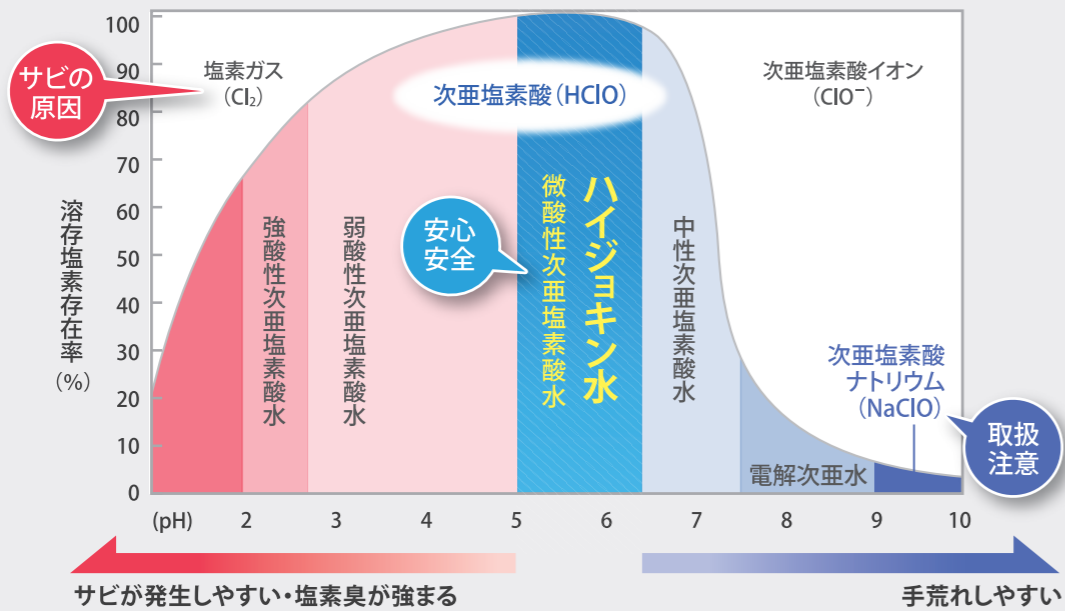
HI-JOKIN

ハイジョキンII

つくりたての微酸性次亜塩素酸水。だから、高い安全性と除菌力。

④ 高い除菌力のハイジョキン水

次亜塩素酸 (HClO) を多く含み、より高い除菌効果を発揮。

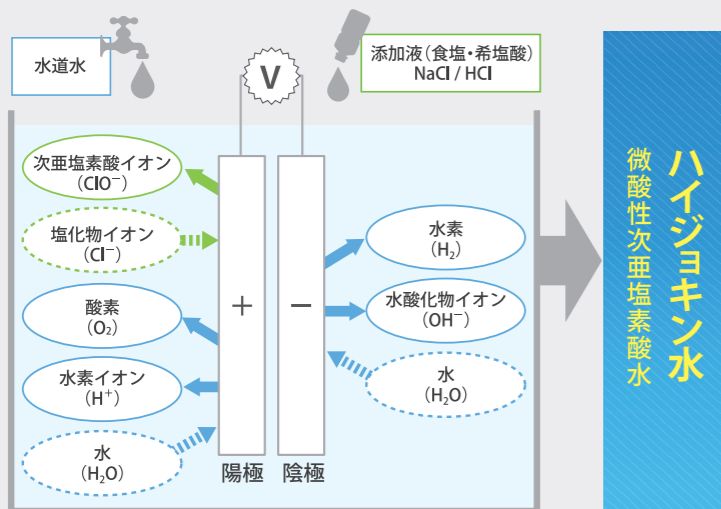


厚生労働省開示資料 (https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/dl/s0819-8k.pdf) を参考に作成

④ 食品添加物 (殺菌料) の規格をクリアする電解生成方法

食品衛生法では、塩酸または食塩水を電解することで得られる次亜塩素酸水が、「食品添加物(殺菌料)」に指定されています。

出典：次亜塩素酸水の食品添加物指定に関する資料(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/shingi/2009/08/dl/s0819-8m.pdf



水道水に専用添加液(0.2%食塩+希塩酸)を加えて電気分解

水道法に定められた水質基準に適合

六物因	限定値
亜硝酸態窒素	0.04mg/L以下であること
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/L以下であること
塩化物イオン	200mg/L以下であること
有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/L以下であること
pH値	5.8以上8.6以下であること
味	異常でないこと

④ 1ℓ当り約5円*

5円

ランニングコストは、水道・電気代をのぞいて1ℓ当り約5円と大変経済的です。専用電解補助液500cc(1本2,500円)で約500ℓの微酸性次亜塩素酸水が生成できます。

*水道・電気代のぞく

④ サビにくい

pH2.7以下の強酸性電解水(強酸性次亜塩素酸水)は、金属をサビさせる性質があります。サビの原因となる塩素ガスが発生しやすく、また乾燥による塩の濃縮で腐食を招きやすいため十分な注意が必要です。

ハイジョキンIIの正しい使い方



- 1 事前に汚れを落とします。
- 2 ハンドセンサーに近づき、安心・安全に洗浄します。

厚生労働省等が推奨する設定も簡単に!

- 生成時間の設定 = 20秒以上
- 有効塩素濃度 = 35ppm~40ppm

- 3 表面に残らないよう、清潔な布等でふき取ります。

「次亜塩素酸水」を使ってモノのウイルス対策をする場合の注意事項(厚生労働省/経済産業省/消費者庁)を参考に作成



キャッシュトレイ	受付プレート、診察券入れ	おもちゃ
ゴーグル、フェイスガード等	歯科模型	飛沫感染防止パネル